

## 政策評価調書(4年度実績)

政策名	スポーツの振興	政策コード	Ⅲ-3	関係部局名	教育庁、企画振興部、福祉保健部
-----	---------	-------	-----	-------	-----------------

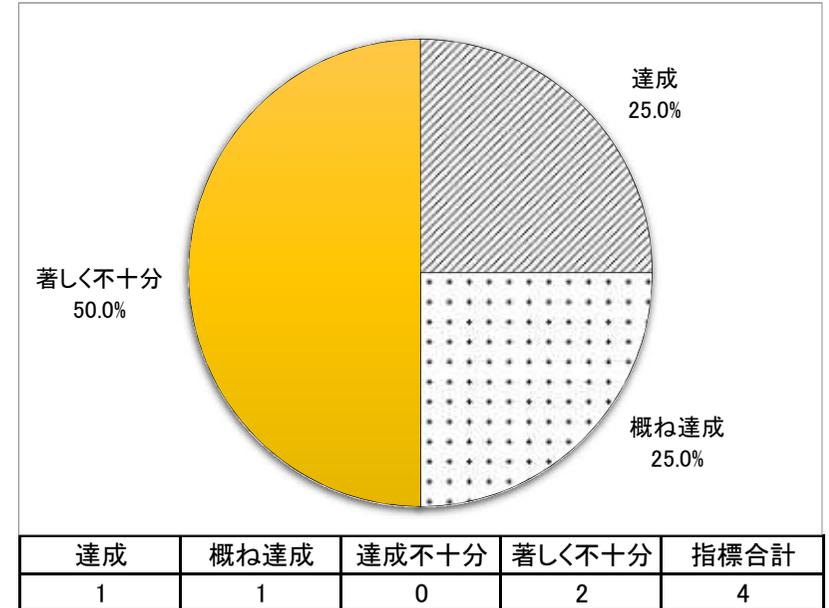
### 【Ⅰ. 政策の概要】

ライフステージに応じたスポーツの推進や県立スポーツ施設の整備等による県民スポーツの推進、ジュニア期からの一貫指導体制の確立や競技力を支える人材の養成等による世界に羽ばたく選手の育成のほか、国際スポーツ大会の誘致やラグビーワールドカップ2019のレガシー継承など、スポーツによる地域の元気づくりを進める。

### 【Ⅲ. 政策を構成する施策の評価結果】

	施策名	指標評価	総合評価
1	県民スポーツの推進	達成不十分	C
2	世界に羽ばたく選手の育成	達成	A
3	スポーツによる地域の元気づくり	著しく不十分	C

### 【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



### 【Ⅴ. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の動向】

本県における成人のスポーツ実施率は約50%となっており、特に働きざかり世代の30代では他の年代に比べてスポーツ実施率が低い状況にある。健康寿命日本一の実現に向けて、県民が心身の健康の保持・増進を図り、健康で活力に満ちた生活を送ることができるよう、ライフステージに応じたスポーツを推進する必要がある。

県立スポーツ施設等を積極的に活用することにより、より多くの県民が生涯にわたり日常的にスポーツに親しめるよう、今後もスポーツ環境を整備していく必要がある。

また、国民体育大会や各種国際大会において、本県出身選手の活躍を期待する声が高まっている。優れた才能を持ったジュニア選手を発掘し、長期的視点に基づいた一貫指導体制による育成・強化が必要である。

R5年にツール・ド・九州2023やR6年に全国高等学校総合体育大会(北部九州総体)の開催が予定されており、県民のスポーツに対する関心はさらに高揚していくことが予想される。

県内のプロスポーツチームやスポーツイベントなどの地域資源を活用し、県民のスポーツへの関心拡大とスポーツに親しむ機運の醸成、スポーツ参画人口の拡大を図る必要がある。

### 【Ⅳ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
総合型地域スポーツクラブの会員数(万人)	74.5%
合宿等受入人数(人)	61.3%

<著しく不十分となった理由>

新型コロナウイルスの影響による活動の制限などにより、目標値を達成できなかった。

総合型地域スポーツクラブについては、20代～50代を中心にクラブ会員数が減少していることから、地域に特性を活かしたシンボリックプログラムや、親子で一緒に取り組める運動など、魅力あるプログラムの提供により加入促進を図る。

合宿等受入については、プロ、実業団、大学等の日本トップチームの合宿を積極的に誘致するとともに、HPの充実による広報活動の強化や選手と県民との交流の場の創設などにより、西日本有数の合宿地として知名度を上げ、スポーツ合宿の裾野を広げる。